
Express5800 R120h-1M/R120h-1M(2nd-Gen)/R120h-1M(3rd-Gen)
R120h-2M/R120h-2M(2nd-Gen)/R120h-2M(3rd-Gen)
R120h-1E/R120h-1E(2nd-Gen)/R120h-1E(3rd-Gen)
R120h-2E/R120h-2E(2nd-Gen)/R120h-2E(3rd-Gen)
R120i-1M/R120i-2M
R110j-1M/R110j-1/R110j-1(2nd-Gen)
R110k-1
T120h/T120h(2nd-Gen)/T120h(3rd-Gen)
iStorage NS300Ri/NS300Rj/NS500Ri/NS500Rj

iLO5 ファームウェア：バージョン 2.90 へアップデートされる際の事前確認 (ご案内)

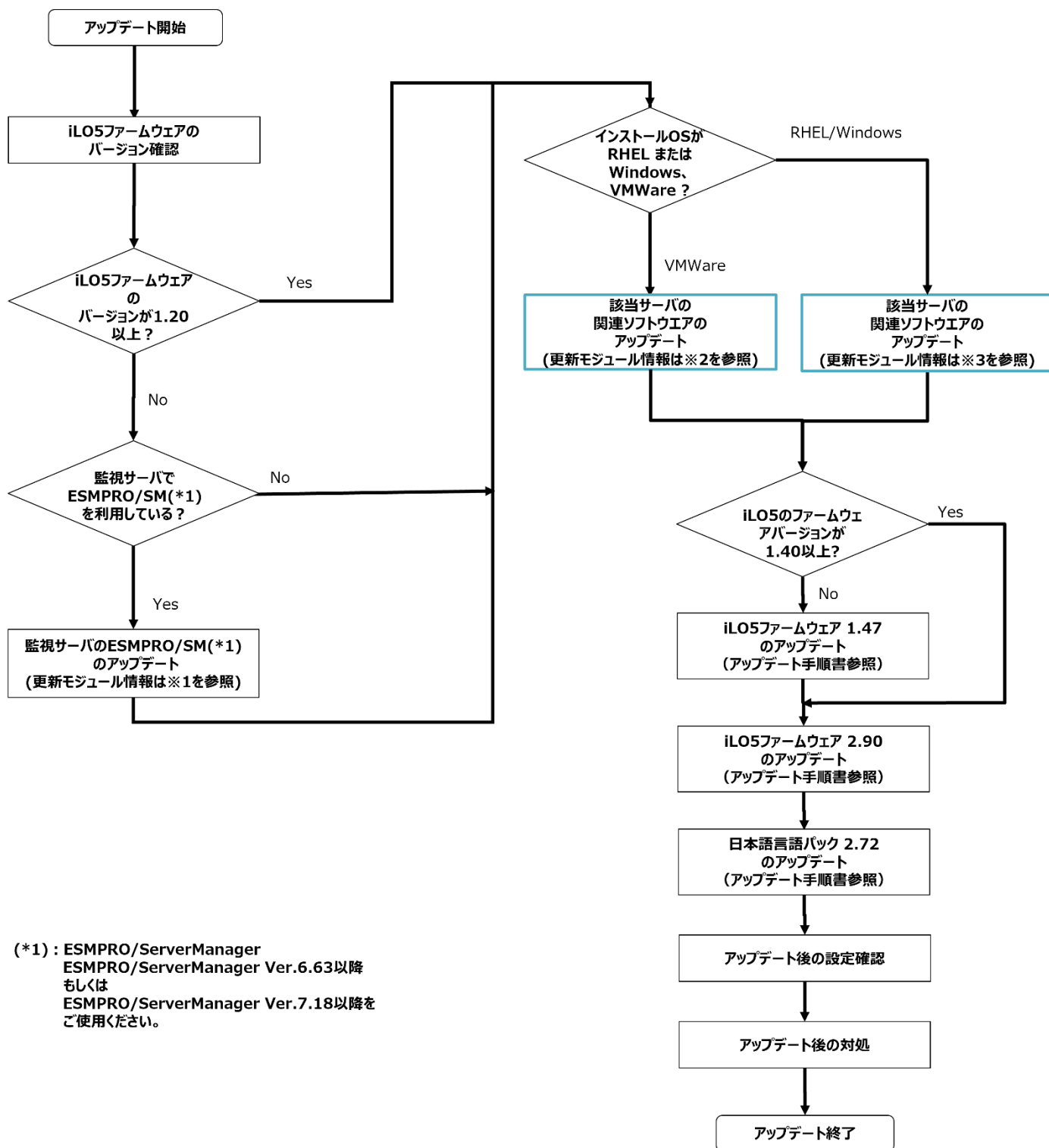
日本電気株式会社

2023 年 10 月

iLO5 ファームウェア：バージョン 2.90 のアップデートを実施される前に、以下のフローに従って、必要な確認および対処を行ってください。

- お客様のご利用サーバの iLO5 ファームウェアのバージョンの確認。
- 監視サーバで ESMPRO/ServerManager をご利用されている場合の事前対処。
- お客様のご利用サーバの OS に応じた事前対処。

バージョン確認方法や、対処が必要となった場合の更新モジュールの入手情報、およびアップデート方法の詳細情報は、4 ページ以降をご確認ください。



【 注意事項 】

N8190-163/171 Fibre Channel コントローラ(1ch)が搭載されている場合は、"N8190-163/164/171/172 ファームウェアアップデートモジュール/アップデート手順" に記載している URL を参照し、Fibre Channel コントローラのファームウェアバージョンを確認してください。

ファームウェアの適用条件に該当する場合は、先に iLO5 ファームウェアのアップデートを行うと N8190-163/171 のファームウェアがアップデート出来なくなることがありますので、iLO5 ファームウェアのアップデート前に N8190-163/171 Fibre Channel コントローラ(1ch)のファームウェアのアップデートを実施してください。

◆ N8190-163/164/171/172 ファームウェアアップデートモジュール/アップデート手順

■ Windows 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108803>

■ RHEL6.x 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108868>

■ RHEL7.x 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108804>

■ ESXi6.0 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108805>

■ ESXi6.5 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108806>

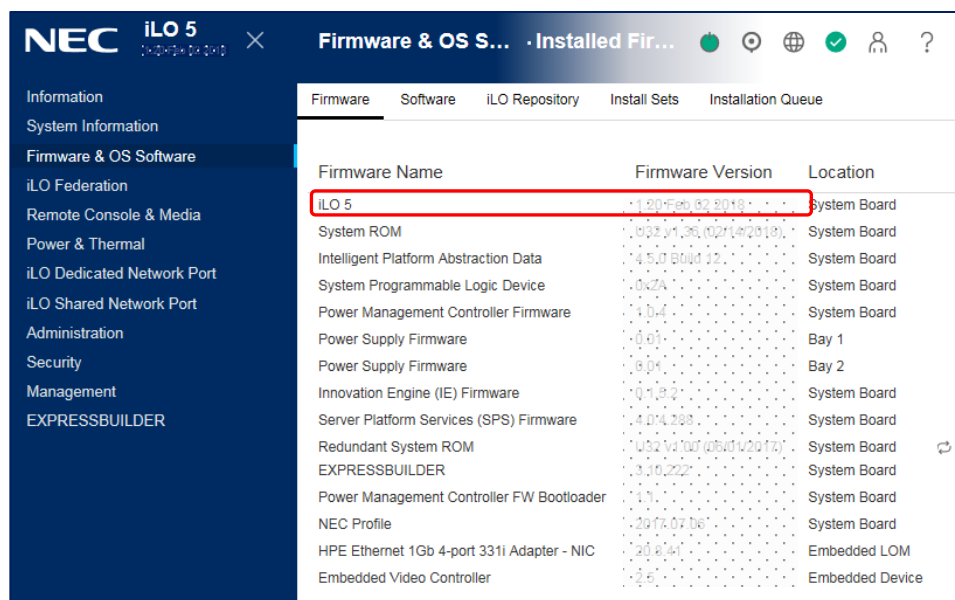
■ ESXi6.7 版

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010108807>

【バージョン確認方法】

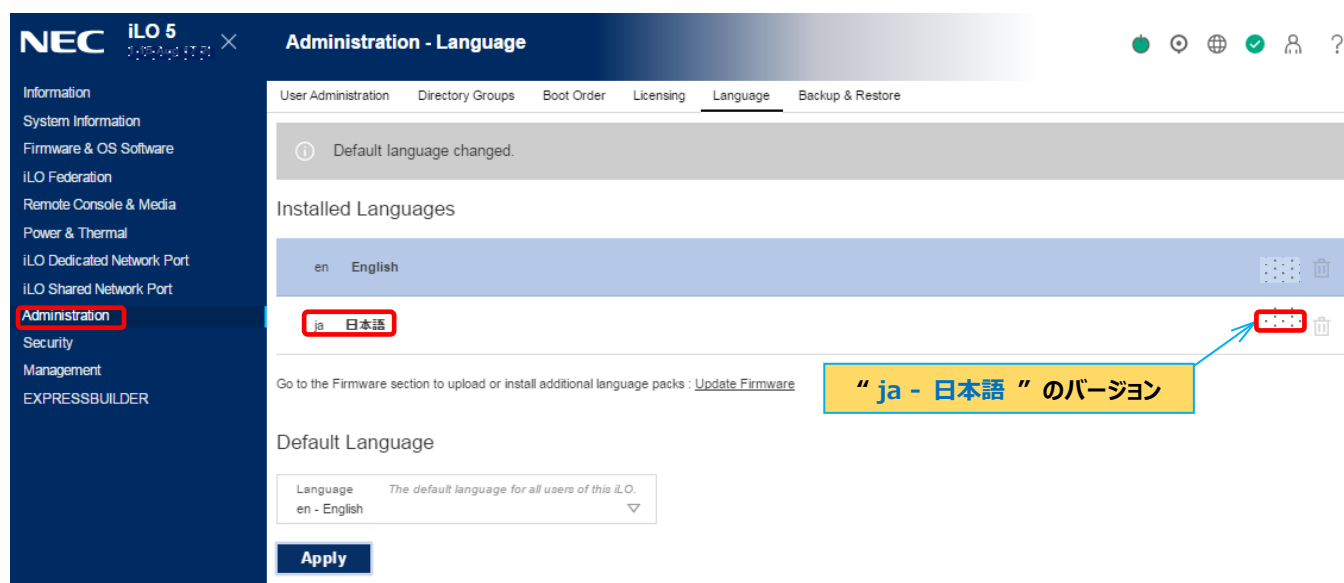
◆ iLO5 ファームウェアのバージョン確認

- (1) iLO Web インターフェースにログインします。
- (2) iLO Web インターフェース : 「Firmware & OS Software」 → 「Firmware」へと進みます。
- (3) iLO5 ファームウェアのバージョンの確認を行います。



◆ iLO5 日本語言語パックのバージョン確認

- (1) iLO Web インターフェース : 「Administration」 → 「Language」へと進みます。
- (2) iLO5 日本語言語パックのバージョンの確認を行います。



◆ ESMPRO/ServerManager(Windows 版)のバージョン確認方法

- (1) ESMPRO/ServerManager にログインします。
- (2) 画面右上の「ESMPRO/ServerManager について」のリンクを選択します。
- (3) 表示される ESMPRO/ServerManager のバージョンの確認を行います。

【 更新モジュール情報 】

◆ ※1 ESMPRO/ServerManager(Windows 版)のアップデート方法

- (1) 以下より最新版の ESMPRO/ServerManager をダウンロードします。
<https://jpn.nec.com/esmsm/download.html>
- (2) 「ESMPRO/ServerManager Ver.6 インストレーションガイド(Windows 編)」または「ESMPRO/ServerManager Ver.7 インストレーションガイド」の「2 章 インストール」を参照し、ESMPRO/ServerManager のアップデートを行ってください。

◆ ※2 関連ソフトウェアのアップデート方法(インストール OS : VMWare)

下記のサイトをご確認いただき、Agentless Management Services(以下、AMS)と iLO Channel Interface Driver のアップデートを行ってください。

VMWare のバージョンによってダウンロードサイトおよびバージョンが異なります。

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.0 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010108698>

バージョン - Agentless Management Service (600.11.4.5)
- iLO Channel Interface Driver (600.10.1.0)

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.5 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010109999>

バージョン - Agentless Management Service (650.11.8.0)
- iLO Channel Interface Driver (650.10.7.5)

■ ご使用の OS が VMWare ESXi6.7 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010110000>

バージョン - Agentless Management Service (670.11.8.0)
- iLO Channel Interface Driver (670.10.7.5)

■ ご使用の OS が VMWare ESXi7.0/8.0 の場合

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=9010110916>

バージョン - Agentless Management Service (701.11.9.5)
- iLO Channel Interface Driver (700.10.8.0)

◆ ※3 関連ソフトウェアのアップデート方法(インストール OS : RHEL/Windows)

Starter Pack (Version S8.10-010.08 以降)を使用し、AMS と RAID 通報サービスのアップデートを行ってください。

OS と Starter Pack の対応表をご確認いただき、ご使用の OS が Starter Pack (Version S8.10-010.08 以降)に対応している場合は、なるべく Starter Pack (Version S8.10-010.08 以降)を使用して iLO5 ファームウェア以外の各種ファームウェア、および AMS、RAID 通報サービス以外の各種ソフトウェアに関してもアップデートすることを推奨いたします。

※ご使用の OS が Starter Pack (Version S8.10-010.08 以降)に対応していない場合の AMS のアップデートについて

ご使用の OS が RHEL7.x の場合は Starter Pack (Version S8.10-010.07)を使用し、後述の「AMS の個別アップデート手順」を参照してアップデートしてください。

また、ご使用の OS が RHEL8.5 以前の RHEL8 のマイナーバージョンの場合は Starter Pack (Version S8.10-010.08)を使用し、後述の「AMS の個別アップデート手順」を参照してアップデートしてください。

AMS のアップデートは、Standard Program Package のインストールを行うことでアップデートされます。

詳細は、下記 Starter Pack のダウンロードサイトの【Windows の場合】/【Linux の場合】をご確認ください。

iStorage シリーズの場合は、【アップデート】をご確認ください。

RAID 通報サービスは、すでにインストールされたバージョンをアンインストール後、Starter Pack を利用して、Windows の場合は、各種アプリケーションよりアップデートを行い、Linux の場合はターミナルからスクリプトの実行を行います。

詳細は、Smart Storage Administrator ユーザーズガイド¹の「Starter Pack からインストール」をご確認ください。

< Starter Pack について >

本製品で使用する Starter Pack は、以下 Web サイトに最新版が掲載されています。

Web に掲載されている内容を確認し、Version S8.10-010.08 以降を適用してください。

<https://www.support.nec.co.jp/>

(「NEC サポートポータル内検索」で、「S8.10-010.08」を入力して検索してください。)

< OS と Starter Pack の対応表について >

「OS と Starter Pack の対応表」は、以下より入手できます。

<https://www.support.nec.co.jp/>

(「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」

をクリックし、「ユーザーズガイド」を選択)

¹ Smart Storage Administrator ユーザーズガイドは、「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」をクリックし、「ユーザーズガイド」のページに移動してから「Smart Storage Administrator ユーザーズガイド」をクリックすることで参照できます。

- RAID 通報サービスの個別アップデート手順

以下の手順に従って、インストール済みかどうかを確認します。

- Windows の場合

[コントロールパネル]-[プログラムと機能]において、[RAID Report Service]が存在しており、以下の確認ファイルがあればインストールされています。

<確認ファイル>

C:¥Program Files¥RAID Report Service¥server¥version.txt

※インストール時のインストールフォルダがデフォルトの場合

- Linux OS の場合

以下のようにして RAID 通報サービスの RPM パッケージがインストールされていることを確認します。

以下のように表示されれば、インストールされています。

例: # rpm -qa | grep raidsrv

raidsrv-1.00-0.x86_64

最新版へアップデートする際は、既にインストールされているバージョンを一旦アンインストールした後に、最新版をインストールしてください。

最新版および最新版の RAID 通報サービスのアップデート手順に関しては、以下のサイト内の RAID 通報サービスの最新版バージョン及び公開モジュールリンク先を参照してください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?NoClear=on&id=3140103134>

詳細は、Smart Storage Administrator ユーザーズガイド²の「Web からダウンロードしたモジュールからインストール」をご確認ください。

² Smart Storage Administrator ユーザーズガイドは、「NEC サポートポータル内検索」から対象のモデル名を検索し、「製品マニュアル」をクリックし、「ユーザーズガイド」のページに移動してから「Smart Storage Administrator ユーザーズガイド」をクリックすることで参照できます。

- AMS の個別アップデート手順

AMS のみを個別でインストールする際は、以下の手順を参照しアップデートを行います。

- Windows の場合

Starter Pack 媒体/ISO イメージ直下の”contents.html”を開き、『Agentless Management Service for Windows X64』を検索し、「Filename」列の実行形式ファイル名(cpXXXXXX.exe)を確認します。

Starter Pack 媒体/ISO イメージの packages ディレクトリ配下にある上記の実行形式ファイルを実行してアップデートを行います。

※ アップデートの途中で「SMA (System Management Assistant) Option」のダイアログボックスが表示された場合は、「いいえ」を選択します。

- Linux の場合

(1) 現在、AMS がインストールされているバージョンを確認してください。

```
例: # rpm -qa | grep amsd
      amsd-2.3.0-1451.49.rhel7.x86_64
```

(2) 旧バージョンの AMS がインストールされている場合、AMS を一旦アンインストールしてください。

```
例: # rpm -e amsd-2.3.0-1451.49.rhel7.x86_64
```

(3) Starter Pack をマウントした後に packages 配下のご使用の OS のメジャーバージョンに対応する以下のいずれかの RPM パッケージを作業ディレクトリにコピーしてください。

Version S8.10-010.07 から RPM パッケージを作業ディレクトリにコピーしてください。

- RHEL7.x の場合:amsd-x.x.x.-xxxx.xx.rhel7.x86_64.rpm
- RHEL8.x の場合:amsd-x.x.x.-xxxx.xx.rhel8.x86_64.rpm

```
例: # cp /run/media/root/SPP6700/packages/amsd-2.7.0-1724.3.rhel7.x86_64.rpm /tmp
```

(4) RPM パッケージをコピーした作業ディレクトリに移動して以下のように AMS をインストールしてください。

```
例: # rpm -ihv amsd-2.7.0-1724.3.rhel7.x86_64.rpm
```

(5) 作成した作業ディレクトリを削除してください。

(6) 以下のコマンドを実行して AMS(amsd)が起動されていることを確認してください。

```
例: # ps -ef | grep amsd | grep -v grep
      root      14395      1  0 19:32 ?          00:00:00 /sbin/amsd -f
```